

兵解協だより

「重機・アタッチメントの点検・整備についての勉強会」並びに「メンテナンス工場の見学会」が開催されました。

(株) ミツエ様のご好意により、令和元年10月1日(火) PM3時から「重機・アタッチメントの点検・整備についての勉強会」並びに「メンテナンス工場の見学会」が開催されました。勉強会はミツエ様の会議室。工場見学は、ミツエ様のメンテナンス工場で行われました。25名の会員が参加いたしました。勉強会では、講師としてニシコン(株)の川村理事が担当いたしました。

まず、点検・整備についての説明があり、重機等を長く使用するためには、日常点検が必須で、使用方法も大切であるとの説明がありました。中でもグリスアップに着目し、始業前、休憩時などに各アタッチメントなどに1日2回以上グリスアップが大事であることを強調しておりました。2件の故障事例を説明されグリスアップによりリンク穴だけに限らず他の部品の寿命も延びるとの説明がありました。次に、各アタッチメントの使用方法についての説明がありました。油圧ブレーカーでは①作業前の点検の実施。②空うちはダメ。③斜めうちはダメ。④連続打撃は30秒以内。大割圧搾機は①ストロークエンド作業に注意。②こじり作業はしない。③カッター刃で圧砕しない。④水や泥の中での作業は禁止。バケットシリンダー傷&曲がりとはストロークエンド作業にならぬよう注意が必要などの基礎的な説明がありました。この後、SV-24X・K-23J・G-200のグリス箇所の詳細な説明があり、特にSK30SR-6並びにSK210D-9の機種についてグリス箇所、グリスアップの方法について丁寧な説明がありました。

勉強会の詳細な内容につきましては、紙面の都合上省略させていただきますが、正しく、継続的にグリスアップすることが大切であり、これにより、各アタッチメントの延命につながり高額な修理費が大幅に節減できる事を学びました。

この後、5分ほど離れた、メンテナンス工場の見学を行いました。そこでは2名の技士が、グリスアップや、アタッチメント等の点検・修理を行っておりました。自前でこれだけの施設を整備されていることはサプライズでした。今回の「勉強会」・「工場見学」は非常に多くのことを学ぶことが出来ました。

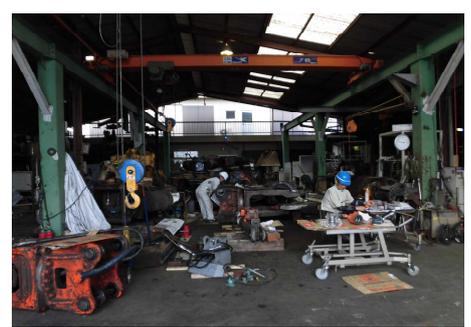
(株) ミツエ様お世話になり本当にありがとうございました。また機会があれば、このような行事を開催いたしたいと考えております。



勉強会の様子



メンテナンス工場見学の風景



メンテナンス工場の作業の様子